



My Cisco Entitlements (MCE)

すべて表示 すべてを管理 すべてを保護

よく寄せられる質問 (FAQ)

ドキュメントの目的

このドキュメントは、My Cisco Entitlements (MCE) に関して多く寄せられるご質問にお答えすることを目的としています。

対象者

シスコのお客様

目次

1. MY CISCO ENTITLEMENTS (MCE)	3
概要	3
どのユーザロールでも使用できる MCE の機能	6
MCE での SA 管理者ロールの機能	8
2. パートナー向けの MCE	10
3. MCE のアーキテクチャ	11
4. MCE におけるプライバシー保護とデータ保護	12
5. MCE のロードマップ	14
6. その他の質問	15
7. その他のリソース	15

1. My Cisco Entitlements (MCE)

概要

Q My Cisco Entitlements (MCE) とは何ですか。

A My Cisco Entitlements (MCE) は、スマートアカウント (SA) の構成に利用できる、使いやすい無償のプラットフォームです。このセキュアなプラットフォームを利用すると、サービス、サブスクリプション、ライセンス、デバイスを含むすべての資産と権限の情報が、集約されたビューで確認できます。お客様のビジネスに関する分析情報の入手やシスコの IT 資産と権限の管理にぜひお役立てください。[MCE の概要に関するビデオ](#)をご覧ください。サインアップをご希望の場合は、[こちらのアンケートにお答えください](#)。

Q 資産と権限とはそれぞれ何を指しますか。

A 資産は、ソフトウェア、ハードウェアやデバイス、何らかの形態を持つ機器を指します。また、権限は、お客様に付与される使用権、テクニカルサポート権、ソフトウェアのダウンロード権、ライセンスの管理権、ソフトウェアバージョンのアップグレード権、ハードウェアの交換権、コンテンツ権などの権利を指します。

Q MCE を使用した方がよいのはなぜですか。

A MCE を使用すると、次のようないくつかのメリットがあります。

- リアルタイムで得られる分析情報：このプラットフォームは、アクティベーションと使用率に関するメトリックと連動した、製品とサービスのシンプルなビューを提供します。
- コストの最適化：製品とサービスの使用率を計画および制御できます。
- 事業継続性の強化：リスクのある製品やサービスを予防的に特定し、コンプライアンスに準拠します。
- セキュアかつ一元化されたユーザアクセス：セキュアかつ一元化されたユーザアクセスを提供するプラットフォームで、情報の管理のあり方を簡素化します。

Q MCE にアクセスするにあたって前提となる条件はありますか。

A MCE プラットフォームはスマートアカウント (SA) の仕組みを利用しているため、MCE ですべての資産と権限を閲覧し、プラットフォームの利点を最大限に引き出すためにも、スマートアカウントの取得をお勧めします。MCE にはスマートアカウントを必要としない機能もありますが、使用上の制限が設けられています。

スマートアカウント (SA) をお持ちでないお客様は、次の資料を参照して詳細を確認のうえ、SA をセットアップして使用準備を整えてください。

- [スマートアカウント \(SA\) の概要](#)
- [カスタマー スマート アカウント \(SA\) の作成](#)
- [バーチャルアカウント \(VA\) の作成](#)
- [カスタマー スマート アカウント \(SA\) の構築 - 概要](#)

Q MCE へのアクセスの仕方を教えてください。

A スマートアカウントの作成が完了したら、[こちら](#)からプラットフォームにアクセスします。シスコのユーザ名とパスワードを使用してログインします。

MCE のビューと権限は、スマートアカウントとバーチャルアカウントに付与されているアクセス権に準じます。

Q スマートアカウントで MCE アクセスを有効にするにはどうすればよいですか。

A [MCE へのサインアップ](#) ページに移動し、[ここにログイン (Sign Me Up)] フォームを入力してください。お客様のリクエストを受けて、シスコサポートが 2~4 営業日以内に対応します。

Q 使用できる MCE ペルソナの種類を教えてください。

使用できるロールの種類と、そのロールに関連付けられている権限の詳細については、[MCE のユーザロール](#)に関するドキュメントを参照してください。

Q パートナーとシスコは MCE 上で当社の情報を閲覧できますか。

A デフォルトでは、お使いのスマートアカウントにパートナーとシスコがアクセスすることはできません。MCE でのアクセス権はスマートアカウントのアクセス権が基になっているため、スマートアカウント管理者が許可したユーザだけが、スマートアカウントにアクセスしてお客様の情報を閲覧できます。

パートナーやシスコにお客様の情報の閲覧や管理を許可するには、SA 管理者からパートナーとシスコまたはいずれか一方に対し、そうした操作が可能なロールを割り当て、アクセスを委任できます。

Q MCE とスマートアカウントにはどのような違いがありますか。

A スマートアカウントは、スマートアカウント対応製品とスマートライセンス対応製品を保管しておくコンテナとして機能します。

それらの資産と権限がスマートアカウントに保管されると、スマートアカウントの仕組みを利用する複数のプラットフォームやツールからアクセスできます。

MCE はスマートアカウントを基にしてすべての資産と権限をタグ付けし、集約して表示できるビューをユーザに提供します。

Q これまで通り、スマートアカウントと software.cisco.com のライセンスポータル (Cisco Smart Software Manager) を使用する必要がありますか。それとも MCE を単一のアクセスポイントとしてすべての情報にアクセスできますか。

A MCE は、財務への影響がないあらゆる処理の実行を主な目的として構築されています。開発段階にある機能は販売後の処理を目的にしたものであり、財務に影響を与えることはありません。

すべての機能を MCE 上でも使えるようになるまでは、引き続きスマートアカウントと Cisco Smart Software Manager ポータルを使用する必要があります。

Q GUID とは何を指しますか。

A GUID は、お客様を識別し、法律上の定義と一致する階層構造によって個々の所在地を整理する目的で、シスコの顧客登録に使用される親会社の識別番号です。MCE は、この階層を使用してお客様の会社に属する資産と権限を識別します。

Q サイト ID とは何を指しますか。

A サイト ID は、企業の住所や所在地を数字で識別できるようにしたものです。シスコの顧客登録では、お客様の会社の法的な構造に従って、これらの所在地を階層化して整理しています。MCE はこのサイト ID によって、資産と権限がどこにインストールされているかを判断します。

Q シスコが提供している BCI や SNTC などのアプリケーションと MCE との違いはどのようなものですか。

A MCE プラットフォームでは、シスコ製のハードウェア、ソフトウェア、サブスクリプション、サービスに関する分析情報が提供され、ご購入いただいた製品とサービスをあらゆる側面から把握できます。

Business Critical Insights (BCI) は、ネットワークの重要な分析情報を提供する、MCE とお客様のための分析ポータルです。

そして Smart Net Total Care (SNTC) は、シスコのハードウェアとサービス対象時間の情報に重点を置いたサービスです。

これらのポータルとプラットフォームには、それぞれ特定のニーズに応える特徴があります。MCE、BCI、SNTC の違いをまとめると、次の表のようになります。

機能の凡例：
● 使用可能 ● FY19/FY20 内には使用可能 ● 使用不可

機能	MCE	SNTC ポータル	BCS/BCI
ソフトウェアライセンスのダウンロードと更新	●	●	●
資産管理：MACD のセキュアな実行	●	●	●
あらゆる資産と権限に関する可視性：管理、検索、フィルタ処理、並び替え	●	●	●
オペレーティングシステム/OS	●	●	●
ハードウェアの可視性	●	●	●
サービス契約レベル	●	●	●
ネットワークの可視性	●	●	●
PSIRT アラート	●	●	●
スマートかつリアルタイムのデータ可視性	●	●	●
リアルタイムに近いデータ可視性	●	●	●
ユーザアクセス管理の制御	●	●	●
クラウドベースの権限付与プラットフォーム	●	●	●
カスタマイズ可能なダッシュボード	●	●	●
シスコへの投資に関する完全な可視性	●	●	●
エクスポート/インポート機能	●	●	●
製品ライフサイクル管理	●	●	●
TAC ケースを開く	●	●	●
テレメトリや機械学習	●	●	●
一元化されたユーザアクセス管理	●	●	●
オープンな RMA	●	●	●
ISO API 統合	●	●	●
ライセンスの再ホスト	●	●	●

どのユーザロールでも使用できる MCE の機能

- Q** すべての資産と権限を単一のビューで確認できますか。
- A** はい、できます。MCE プラットフォームでは、すべての資産と権限の閲覧および管理をセキュアに行えます。[MCE の概要に関するビデオ](#)もご覧ください。
- Q** MCE にすべて統合されたシスコのアプリケーションはどれですか。
- A** シスコが提供する電子配信アプリケーション（旧称 e-Delivery）とバージョンアップグレード（旧称 Product Upgrade Tool）については、MCE への統合が完了しています。電子配信アプリケーションについては MCE の [注文 (Orders)] タブから、バージョンアップグレードについては [ライセンス (Licenses)] タブからそれぞれアクセスできます。
- Q** MCE で提供される分析情報にはどのようなものがありますか。
- A** MCE にログインすると、[アカウントの概要 (Account Overview)] タブが表示されます。このタブでは、資産と権限に関する次のような分析情報を確認できます。

- **デバイスの合計数**：所有しているシスコの資産と権限の数を示します。
- **サポートの終了日 (LDoS)**：サポートの終了日を過ぎた資産と権限の割合を示します。
- **サービス対象時間**：サービス契約の対象時間の範囲に入っている資産と権限の割合を示します。

この項目には、次の複数のタイルがあります。

- **デバイスカバレッジ**：このタイルには、対象となるデバイスと対象外のデバイスの内訳が表示されます。アーキテクチャや国を指定してさらに表示を絞り込みます。
- **サービスおよびサブスクリプションの有効期限とデバイスの LDoS**：どちらのタイルも「過去の終了日」や「すでに終了」などの凡例を指定して表示を絞り込みます。

ご利用いただける分析情報の詳細については、[MCE ユーザガイド](#)を参照してください。

Q 資産と権限を管理するためのアクションの種類を教えてください。

A MCE では、次のようなさまざまなアクションで資産と権限を管理できます。

- **検索**：グローバル検索、または [サービス (Services)] タブ、[サブスクリプション (Subscriptions)] タブ、[ライセンス (Licenses)] タブ、[デバイス (Devices)] タブのいずれかから、資産と権限を検索します。
- **フィルタ処理**：利用可能なフィールドに応じて資産と権限を絞り込んで表示します。
- **エクスポート**：資産と権限に関するレポートをダウンロードします。レポートは複数の形式から選択してダウンロードできます。現時点の仕様では 100,000 行分のデータをエクスポートできますが、今後のリリースでこの数を増強予定です。
- **並び替え**：データを昇順か降順で並び替えます。
- **整理**：資産と権限にバーチャルアカウントを割り当てて整理します。
- **列の管理**：列を管理して資産と権限の表示をカスタマイズします。
- **サポートケースのオープン**：Support Case Manager を直接起動し、テクニカルサポートケースを開きます。
- **ソフトウェアバージョンアップグレード**：お客様の資産と権限のソフトウェアバージョンアップグレードを発注します。

詳細については [MCE ユーザガイド](#)を参照するか、次のビデオをご覧ください。

- [操作方法](#) (ビデオ - 6 分 7 秒)
- [ソフトウェアアップグレードの発注方法](#) (ビデオ - 2 分 20 秒)
- [サポートケースのオープン方法](#) (ビデオ - 2 分 13 秒)
- [バーチャルアカウントに資産を割り当てる方法](#) (ビデオ - 2 分 23 秒) (「再割り当て」の機能は近日提供予定です。それまでは、間違いがないよう注意してバーチャルアカウントに割り当ててください)

- Q** [デバイス (Devices)] タブにはどのような資産が表示されますか。
- A** MCE の [デバイス (Devices)] タブには、スマートアカウントに関連付けられているすべてのデバイスが表示されます。シスコのデバイスが対象になるほか、MCE を使用してライセンスを付与した場合には、シスコ以外のデバイス (サードパーティの仮想デバイス) も対象となります。
- A** デバイスをビューから削除せずに非表示にする機能は、今後提供予定です。
- Q** SA/VA に関連付けられた、資産と権限に影響があるイベントは記録されますか。
- A** 資産や権限に影響するイベントが MCE によって開始された場合、[履歴 (History)] タブに、日付、そのイベント、ユーザ (イベントを実行したユーザ) 、イベントの詳細、イベント中に収集されたメモなどの詳細な情報が記録されます。このタブでは、特定のイベントを検索したり、日付やイベントの種類を条件にして表示を絞り込んだりもできます。
- Q** MCE のソフトウェアオファ어의詳細はどこで確認できますか。
- A** MCE の [サービスとサブスクリプション (Services and Subscriptions)] タブに詳細が表示されます。内容については、[バーチャルアカウント (Virtual Account)] を選択し、バーチャルアカウントごとにオファーを選択してご確認ください。
- Q** ライセンスのアップグレードオプションは、契約へのアクセス権とスマートアカウントへのアクセス権のどちらが基準になりますか。それともその両方ですか。
- A** お客様がスマートアカウントへのアクセス権をお持ちでない場合でも、アップグレードのリンクをクリックして MCE に移動できますが、その場合はスタンドアロンのビューになります。

MCE での SA 管理者ロールの機能

- Q** SA 管理者に限定されているアクションはありますか。
- A** SA 管理者は、前のセクションで挙げたすべての操作を実行できる以外に、アクセスできるビューや権限が追加されています。
- Q** SA 管理者が確認できる分析情報には他に何がありますか。
- A** SA 管理者は、MCE の [アカウントの概要 (Account Overview)] タブで [割り当てステータス (Assign Status)] を確認できます。この [割り当てステータス (Assign Status)] には、バーチャルアカウントに割り当てられた資産と権限の割合が表示されます。

その他にも [サービスとサブスクリプション (Services & Subscriptions)] タブの [契約とサブスクリプション (Contracts & Subscriptions)] ビューにアクセスして、契約レベルまたはサブスクリプションレベルの詳細を確認できます。

Q SA 管理者が資産と権限を管理するにあたって実行できる操作には他に何がありますか。

A SA 管理者は、前のセクションで説明したアクションのほかに、[インベントリフィルタ (Inventory Filter)] で [割り当て済み (Assigned)] と [未割り当て (Unassigned)] の両方の資産と権限を確認できます。

[未割り当て (Unassigned)] ビューでは、バーチャルアカウントの資産と権限の管理操作を実行できます。

また、ユーザアクセスを一元管理できるため、ユーザのニーズに応じてビューと権限を設定することが重要です。MCE で使用できるユーザロールの一覧については、[こちら](#)を参照してください。

その他、[アカウントの概要 (Account Overview)] タブから会社のロゴを変更する操作があります。

詳細については、[MCE ユーザガイド](#)をご覧ください。

Q コンプライアンスに違反した場合、またはライセンスやサブスクリプションの期限切れが近づいた場合に、アラートを受け取れますか。

A 現時点では、MCE には通知機能がありません。機能の拡張によって今後実装される予定です。注意を要する状況かを見極めるには、ダッシュボード上の分析情報とフィルタ機能をご活用ください。

Q MCE でデータを更新するにはどうすればよいですか。

A MCE ではスマートアカウントを利用しているため、資産と権限に関連付けられているすべてのデータは、スマートアカウントと割り当てられているアンカーの場所から直接取得されます。

現在、取得されたデータは更新または変更できませんが、今後の機能拡張で費用を伴わない更新や変更には対応します。

Q My Cisco Entitlements で契約内容を変更できますか。

A MCE は、サービス契約とサブスクリプションを全面的に可視化し、権限の閲覧や使用を許可するユーザの編成を可能にします。

MCE には、現時点でサービス契約やサブスクリプションに変更を加える機能は実装されていません。将来的には利用料金に影響を及ぼさない範囲で、そうした変更を実施できる機能を追加する予定です。また、変更をリクエストする機能を追加し、リクエスト処理における変更状況を可視化する計画があります。

なおサービス契約に関する重要な変更については、コマースプラットフォームである CCW-R で実行する必要があります。

2. パートナー向けの MCE

Q パートナーは MCE にアクセスできますか。

A パートナーが自社で所有する製品やサービスを管理するためのスマートアカウントをお持ちの場合は、MCE を介してそのスマートアカウントにアクセスできます。

パートナーがお客様のスマートアカウントの管理を任されている場合は、そのお客様のスマートアカウントにも MCE からアクセスできます。ユーザがそのスマートアカウントを有する会社に所属しているかを確認できない場合、シスコはパートナーの資産や権限に関する情報を開示しません。

なお、MCE でお客様のパートナーサポートサービス契約を表示し管理できる機能を近日中に提供予定です。

Q どの顧客にどのような製品またはサービスを販売したかを確認できますか。

A 残念ながらできません。MCE がカスタマー スマート アカウントのユーザと管理者に提供するものは、特定のカスタマー スマート アカウントに関する分析情報です。

顧客に販売したものをパートナーが把握するには、引き続き CCW や CCW-R を使用する必要があります。

Q サードパーティのアプリケーションで MCE の API を利用できますか。

A 現時点では、スマートアカウントとスマートライセンスに限定した API のセットを用意しています。該当の API には、[こちらの](#) Cisco DevNet からアクセスできます。

将来的には、オンライン上での操作（閲覧や管理、変更が加えられたときなど）の大半を対象とする API を MCE に追加予定です。

Q パートナーからエンドカスタマーに MCE を提供できますか。

A お客様からロールを付与されているパートナーは、お客様を代行してスマートアカウントを使用できます。パートナー用のビューを MCE に追加予定ですが、ビューに反映されるのは

そのパートナーが顧客に販売したものに限られます。同じ顧客が他のパートナーから購入したのも表示されるわけではありません。

3. MCE のアーキテクチャ

- Q** このクラウドベースのツールは SOC II Type II 認証のレポートを取得していますか。
- A** MCE プラットフォームは、Cisco InfoSec のガイドラインに基づくセキュリティ上のあらゆる評価の対象となります。現時点では、この評価の中に SOC II Type II は含まれていません。
- Q** MCE のネットワーク図を開示できますか。
- A** MCE は、あらゆる面が制御され、統制された環境であるシスコのエンタープライズ向けデータセンターでホストされています。
- Q** MCE の通信相手の IP アドレスを教えてください。
- A** MCE へのアクセスには静的な IP アドレスは使用されません。現時点では eam.cisco.com で MCE アプリケーションにアクセスできます。接続はすべて HTTPS による通信のため安全です。
- Q** 顧客のネットワークのどのようなデータが MCE で保持されますか。
- A** MCE には、発注と出荷の記録のほかに、更新やコレクタベースの調整を介して報告される情報と、従来のスマート ソフトウェア ライセンスの展開情報が保持されます。
- Q** MCE は、顧客のネットワークからデータを取得したり、そのネットワークにデータを渡したりしますか。
- A** My Cisco Entitlements は、シスコの内部ソースから得た資格情報を視覚化して、ハードウェアやソフトウェアのサブスクリプション、サービスに関する情報を表示します。コレクタ（ネットワークからデータを取得）があるお客様はこのデータセットを調整できますが、コレクタの調整が必ず必要なわけではありません。My Cisco Entitlements が顧客のネットワークとの間でデータを受け渡すことはありません。
- Q** MCE のデータは暗号化されますか。
- A** PAK キーを例外として除くと、MCE のデータは暗号化されません。ただし、プラットフォームへのアクセスはユーザロールに基づいて制御されます。

特定のスマートアカウントやバーチャルアカウントにアクセスできるユーザのみが、そのスマートアカウントやバーチャルアカウント内で割り当てられた権限に基づいて閲覧や操作を実行できます。また、プラットフォームへのアクセスも保護されています。

Q MCE は Cisco DNA Center や CSSM On-Prem と同期しますか。

A MCE は、CSSM のデータをスマートライセンスにおける信頼できる情報源として使用します。DNAC と CSSM On-Prem (サテライト) は CSSM に対して使用状況を報告するため、MCE にも CSSM と同じ情報が反映されます。

4. MCE におけるプライバシー保護とデータ保護

Q 企業内のスマートアカウント管理者の連絡先情報はパートナーに開示していますか。

A MCE は、スマートアカウントの仕組みを利用しているため、スマートアカウントにおけるプライバシー保護とデータ保護のポリシーおよび手順に準じます。

スマートアカウント管理者の連絡先情報は社内の従業員にのみ開示されます。その連絡先情報を第三者にも開示するかを決められるのはお客様だけです。

Q 社外のユーザはスマートアカウントのユーザにアクセスできますか。

A いいえ、できません。

ただし、顧客が自社のスマートアカウントを管理する人物を指名することはできます。したがって社外のユーザを管理者としてスマートアカウントに追加した場合、その管理者は Cisco ID や電子メールをはじめとするスマートアカウントのユーザベースを閲覧できます。

Q シスコ社内では、スマートアカウントに関連付けられた顧客やユーザの情報をどのように管理および保守していますか。

A お客様のスマートアカウントの作成と管理をサポートするシスコ社内の従業員やサポート担当者が、一定の役割と責任の下でお客様データへのアクセスを管理しています。また、この体制は社内のサービスオーナーによって定期的に検証されています。

Q パートナーは顧客のスマートアカウントにアクセスできますか。

A パートナーやシステムインテグレータなどの第三者は、お客様からアクセス権を提供された場合にのみ、お客様のスマートアカウントにアクセスできます。提供するアクセス権は、スマートアカウント全体を対象にすることも、お客様が選択したバーチャルアカウント (スマートアカウントのフォルダ) だけに限定することもできます。

すべてお客様次第です。

承認ユーザのリストにパートナーの連絡先を追加するだけで、それぞれのスマートアカウントに対する全面的なアクセス権をパートナーに提供できます。スマートアカウントの初期セットアップ時か、software.cisco.com で「Manage Smart Account」アプリケーションを開いた際に、この操作を行います。

ユーザがそのスマートアカウントを有する会社に所属しているかを確認できない場合、シスコはパートナーの資産や権限に関する情報を開示しません。

Q 顧客として 2 社のパートナーから別々にライセンスを購入した場合、各パートナーはすべてを合わせた権限を MCE で確認できますか。

A パートナーに付与するアクセス権はスマートアカウント全体を対象にすることもできますが、一部（特定のバーチャルアカウント）に限定することもできます。MCE では、パートナーは付与された権限に基づいて権限にアクセスできます。

Q カスタマーポータルすべての項目が、シスコのサポートではなく、パートナーサポートの対象となるのはなぜですか。

A 契約のオーナーはパートナーであって、顧客ではないためです。お客様はパートナーにケースをオープンにしてもらう必要があります。契約のオーナーはパートナーであって、顧客ではありません。お客様はパートナーにケースをオープンにしてもらう必要があります。

Q 管理者の退社や社内の別の役割への配置転換があった場合に、新しい管理者をオンボーディングしたり権限へのアクセスを継続したりするにはどうすればよいですか。

A 一般的なベストプラクティスは、複数のスマートアカウント管理者を定義しておくことです。既存の管理者であれば、software.cisco.com の「Manage Smart Account」アプリケーションを使用して、新規の管理者を作成することも、既存のユーザを管理者ロールに昇格させることもできます。

最後の管理者が退社した場合は、[Support Case Manager](#) でケースをオープンにして、スマートアカウントの新しい管理者を定義してもらうようリクエストできます。

Q GDPR とは何ですか、またどのような影響がありますか。

A 欧州連合の一般データ保護規則、すなわち EU GDPR は 2018 年 5 月 25 日に発効し、EU の個人データを処理する組織に対して効力を持っています。プライバシーの基本的な権利を保護することを目的とした新たな規制は、広範で厳しいものとなっており、世界中の組織が遵守しなければなりません。ヨーロッパに所在していない組織であっても、EU 内の人に商

品やサービスを提供していたり、EU 内の人の行動を監視したりしている場合は、GDPR を遵守しなければなりません。

Q MCE を使用することで組織が GDPR に準拠したことになりますか。

A 1 つの製品やアプリケーションだけでは、組織が GDPR に準拠したことにはなりません。GDPR はプライバシーに関するベスト プラクティスを法的に体現したものであり、個人データを処理する際の透明性、公平性、および説明責任を要求しています。GDPR はプライバシー バイ デザインおよびプライバシー バイ デフォルトの概念を推進しています。組織（データ管理者）またはそれを代理する外部の組織（データ処理者）が実施するすべてのデータ処理活動に、プライバシーとデータの保護を組み込み、統合しなければなりません。これは、個人の権利を尊重し、プロセスを保護し、リスクを管理しようとするものです。適切に適用された技術ソリューションによって成功を確実にすることができます。たとえば、MCE を使用して、クラウド上のどこに、どんな個人データが保存されているかを把握し、アカウントの乗っ取りを示す不審なユーザアクティビティに関するアラートを受け取ることにより、お客様はセキュリティレベルを高めることができます。詳細については、[こちら](#)を参照してください。

Q シスコはデータのプライバシーについてどのような見解を持っていますか。

A シスコは、個人情報を尊重し、個人情報の保護に全力を尽くしています。シスコのプライバシー ステートメントは、個人情報の取り扱いに関する、現在の国際的な原則および基準を反映しています。データの使用、データへのアクセスと統合、セキュリティ、将来の移転、および執行/監視に関する通知および選択。

シスコは、EU およびスイスから国境を越えて個人データを収集、使用、処理、移転することに関して米国商務省が定めた EU-米国間およびスイス-米国間のプライバシー シールドのフレームワークに基づく認証を得ています。また、シスコは APEC クロスボーダー プライバシー ルール システム（www.cbprs.org）に基づく認証も得ています。このシステムは、プライバシーおよびデータの保護に関する適切な基準であるとして、アジア太平洋経済協力（APEC）の21の参加国が承認したものです。シスコのプライバシーに関する声明全文については、<https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/privacy.html> をご覧ください。

5. MCE のロードマップ

Q 導入予定の機能の詳細はどこで確認できますか。

A MCE の機能のロードマップは、[こちら](#)でご確認いただけます。

6. その他の質問

- Q** Meraki デバイスは MCE の概要画面に統合されていますか。
- A** 現時点では MCE は Meraki をサポートしていません。
- Q** MCE は Smart Net Total Care に代わるものですか。
- A** Smart Net Total Care (SNTC) は有償のサービスであり、ポータルはそのサービスに付帯するものであるため、MCE は SNTC の代わりにはなりません。ただし MCE を利用すれば、操作を実行するために別のポータルに移動することも少なくなります。
- Q** TAC サービスリクエストが有効なのは SmartNet だけですか。それともパートナーサービスの対象デバイスでも有効ですか。
- A** どちらでも有効です。
- Q** Cisco Software Central のライセンスセクションの展望について教えてください。
- A** CSC に移動することが少なくなり、将来的にはすべてのアクションが MCE を介して実行される予定です。

7. その他のリソース

- Q** その他のトレーニング用資料はどこにありますか。
- A** 本プログラムについて詳しくは、www.cisco.com/jp/go/mce をご覧ください。
- Q** 質問へのサポートはどこで受けられますか。
- A** 質問をお持ちの場合や懸念事項がある場合は、[Support Case Manager](#) でケースをオープンにしてください。
- フィードバックをいただける場合は、こちらの[アンケート](#)からご意見をお寄せください。

- Q** MCE の機能または機能拡張のリクエストに関するシスコへのフィードバックはどこから行えますか。
- A** 2019 年 9 月 6 日にフィードバックフォーム機能が追加され、MCE 内からすぐにフィードバックができるようになりました。画面右下隅の、ヘルプボタンの上にあるフィードバックボタンをクリックすると、この機能を利用できます。ポップアップウィンドウが表示されるので、評価を付けてフィードバックを入力します。シスコからのフォローアップが必要な場合は、連絡先情報も入力してください。